

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	静岡県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	浜松市立白脇小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	5	4	5	4	4	0	26	34
児童数	155	164	151	170	141	135	0	916	

研究の概要

1. 研究主題

自ら学び自ら考える力を高め、学ぶ喜びを味わう学習 - 少人数指導を通して -
---

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3・5年生・算数 四則計算が出そろった第3学年で実施することで、計算力の確実な定着を図る。学習内容が多く、図形などの算数の面白さを筋道立てて考えることのできる第5学年で実施し、一人一人の課題に応じた多様な学習展開をすることで、自ら学び自ら考える力の育成を図る。</li> <li>・ 1・2・4・6年生・国語 学習の入門期である第1学年で実施することで、言語事項にかかわる内容をきちんと定着させる。 国語科は2学年で目標を達成するため、2・4・6の偶数学年で実施し、重点的な指導を通して、確実な定着を図る。</li> </ul>
---

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 自ら学び自ら考える力を高め、学ぶ喜びを味わう学習 研究の見通し(仮説) 自ら学び自ら考える力を高め、学ぶ喜びを味わうことができるようになるには、児童の実態を把握したり評価をしたりして、個に応じたきめ細かな指導や指導方法の工夫改善をすればよいであろう。</p> <p>研究の内容・方法 ・「確かな学力」を明確にする。 ・学習内容、学習形態を工夫しきめ細かな指導を行う。 (習熟度別指導、少人数指導の進め方の実践研究) ・学習に対する意識調査を行う。 (学習意欲の変化を調べ、成果と課題を見いだす。)</p>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 自ら学び自ら考える力を高め、学ぶ喜びを味わう学習 研究の見通し 習熟度別指導や少人数指導により、児童一人一人の実態に応じた学習内容や指導方法を工夫することにより、基礎・基本の確実な習得や主体的に問題を追究する学び方が身に付くだろう。そして、学ぶことの喜びや充実感を味わうことが次の学習意欲につながっていくだろう。こうした学習を繰り返すことで「確かな学力」が育つだろう。</p> <p>研究の内容・方法 ・ 学習内容、学習形態を工夫しきめ細かな指導を行い個の実態に応じた力を伸ばす。 (算数科...補充教材の開発により基礎基本の確実な定着を目指す。発展教</p>
--------	---

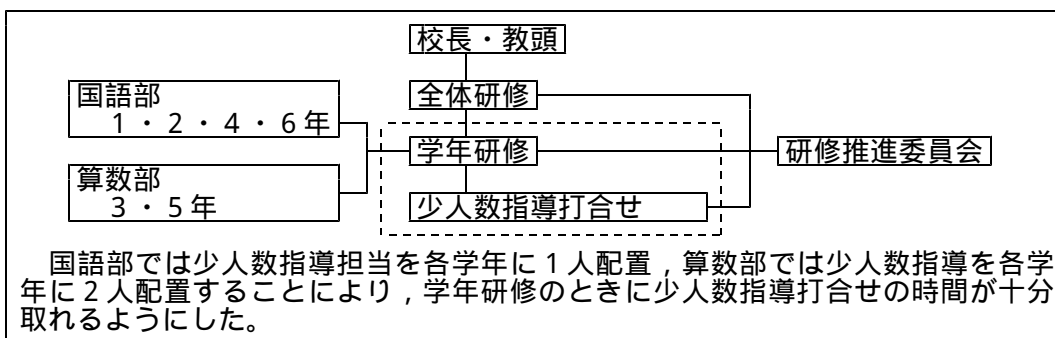
材の開発により主体的に問題を追究する力の育成を目指す。)

- ・ 評価を生かした指導

(授業中の評価と指導, 次の時間への評価と指導, 自己評価を生かす指導)

- ・ 指導方法の工夫改善に全職員で取り組むことにより教師の指導力の向上を目指す。

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

- ・ 「確かな学力」を「知識・技能を身に付け, それを活用していく力, 思考力, 表現力, 判断力」としてとらえることにより, 習熟度でのそれぞれのコースにおいて伸ばしたい力を押さえた。
- ・ 国語科の少人数指導では, 「話す・聞く」の領域において一人一人の児童に対して時間をかけて指導できた。また, 話す機会が増えることにより自分の思いを伝えようという意欲が高まった。
- ・ 算数科の習熟度別少人数指導では, 個に応じた学習の進み方や学習内容を工夫することで児童の学習への意欲が高まった。発展コースでは「進んで難しい問題に取り組みたい。」という積極性が, 標準コースでは「自分で考えてできた。」という自信が, 補充コースでは「もっと多くの問題に取り組みたい。」というやる気が高まってきた。また, コースの実態に応じて, 話し合いにより思考力を高める指導, 意見交換をもとに自分の考えを深める指導, 具体物操作や反復練習で基礎基本を確実に身に付ける指導をすることで, 個の実態に応じた力を伸ばすことができた。
- ・ 算数で少人数指導を行っている3・5年生では, 学習内容が分かるようになり, 算数の勉強が待ち遠しくなったりもっとやりたいと感じる児童が増えた。また, 教師や友達と相談しながら学習を進める児童が増えた。

	とても待ち遠しい	少し待ち遠しい	あまり待ち遠しくない	全く待ち遠しくない	合計
1年	48.0%	31.3%	16.0%	4.7%	100.0%
2年	34.4%	37.5%	14.4%	13.8%	100.0%
3年	30.4%	45.9%	16.2%	7.4%	100.0%
4年	10.0%	52.4%	28.2%	9.4%	100.0%
5年	21.3%	53.7%	17.6%	7.4%	100.0%
6年	10.4%	51.9%	28.9%	8.9%	100.0%

	もっとやりたい	もう少しやりたい	あまりやりたくない	全くやりたくない	合計
1年	51.3%	33.3%	12.0%	3.3%	100.0%
2年	48.1%	35.8%	10.5%	5.6%	100.0%
3年	39.2%	45.9%	14.2%	0.7%	100.0%
4年	19.7%	54.3%	20.8%	5.2%	100.0%
5年	28.5%	45.3%	25.5%	0.7%	100.0%
6年	16.5%	54.9%	26.3%	2.3%	100.0%

算数の時間に友達や先生と相談ができましたか？					
	たくさんできた	ときどきできた	あまりできなかった	全くできなかった	合計
1年	29.5%	43.0%	14.1%	13.4%	100.0%
2年	27.1%	36.1%	18.7%	18.1%	100.0%
3年	23.8%	43.5%	25.2%	7.5%	100.0%
4年	11.8%	47.6%	29.4%	11.2%	100.0%
5年	33.8%	48.5%	16.2%	1.5%	100.0%
6年	24.8%	42.1%	21.1%	12.0%	100.0%

- ・ 学級の枠を超えた教員間の協力指導体制ができ、教材研究についても協力して取り組むことで、教員一人一人の指導力の向上につながってきた。

## 2. 今後の課題

- ・ 習熟度別指導においては、それぞれのコースの特色を出しながら課題解決をさせたり集団での練り上げを大切にしたり、基礎基本を確実に身に付けたりする教材や指導法をより工夫していく。
- ・ 児童の学びを適切に評価し指導に生かすための工夫。
- ・ 児童の変容をとらえる評価方法の工夫（児童の学び意欲や内面の変容の評価、理解や習熟の定着の評価）。

## 学力等把握のための学校としての取組

- ・ 少人数アンケート  
学習意欲、内容の理解、児童自身が伸びたと感じる力、教師の指導力の変容をとらえる。11月、2月に実施
- ・ 定着度調査（算数）  
本年度の学習内容の定着をとらえ、不足している内容の補充を図る。また、来年度の習熟度別グループ分けの資料、個の変容をとらえる資料とする。

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 保護者への「学力向上フロンティアスクール」の説明 4月PTA総会
- ・ 参観会での保護者への少人数指導授業公開（10月・2月）
- ・ 学校便り「しらわき」での少人数指導の取組状況紹介（11・12・1月）
- ・ 少人数指導実践集の作成
- ・ ホームページによる発信  
ホームページアドレス <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/shirawaki-e/>  
メールアドレス [shirawaki-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp](mailto:shirawaki-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp)
- ・ 平成16年度11月下旬に授業公開予定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下                       7～12学級  
 13～18学級                       19～24学級  
 25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
 一部教科担任制                       その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       算数                       理科  
 生活                       音楽                       図画工作                       家庭  
 体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有       無